

経営比較分析表（平成30年度決算）

富山県 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	透I未訓方	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
1,063,293	66,174	非該当	7：1	

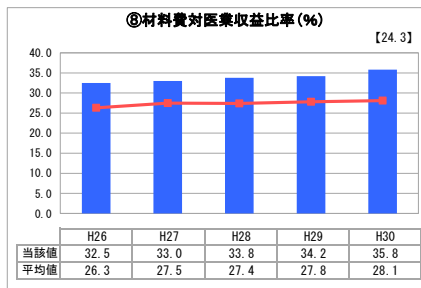
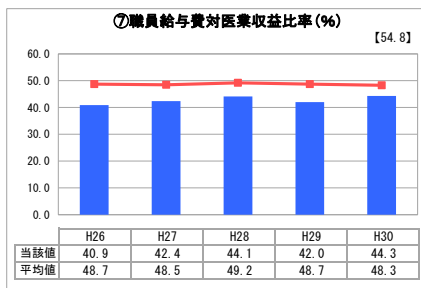
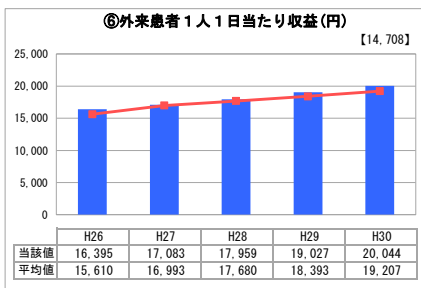
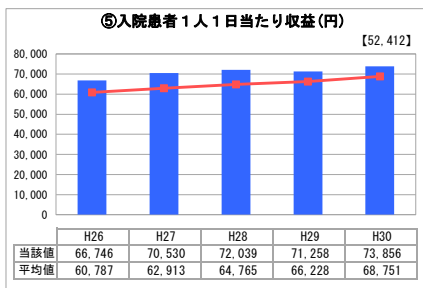
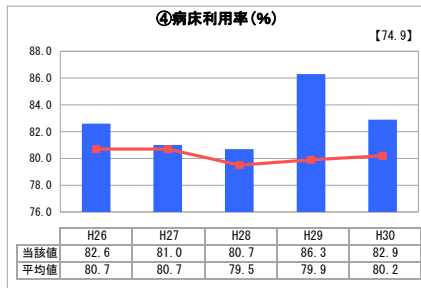
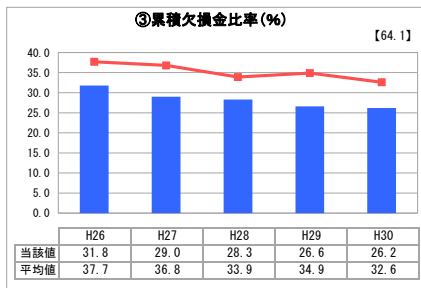
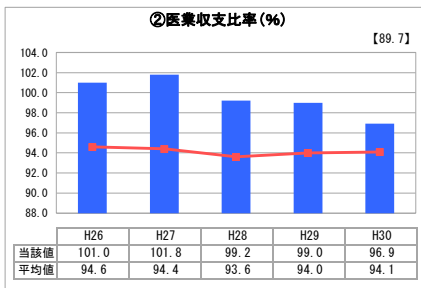
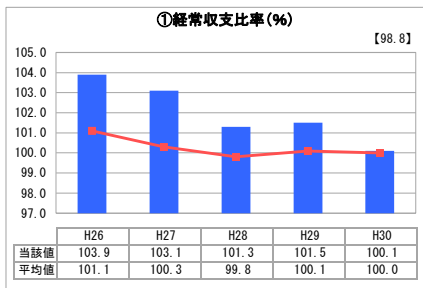
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

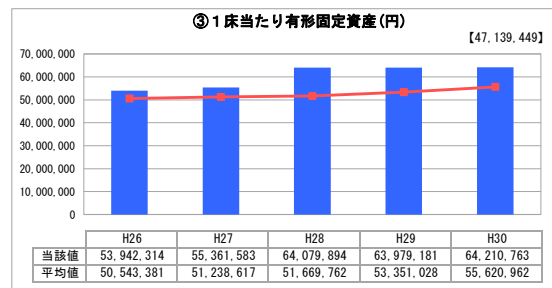
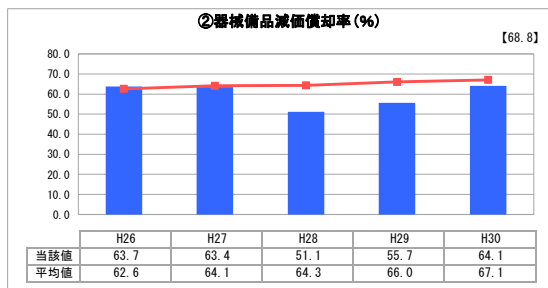
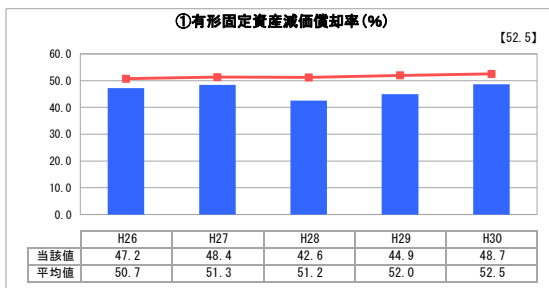
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
665	-	16
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
50	2	733
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
665	-	665

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ②救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
- ③県立がんセンター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
- ④研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率、医業収支比率
30年度においては、抗がん剤を始めとする高額薬品・高額材料の使用増に伴う材料費の増等により、医業費用が増加し、医業収支比率は100%を下回ったが、政策医療に係る一般会計からの繰入金を加えた経常収支比率では100%を上回っている。
- ・病床利用率
昨年比で減少となったものの、近年の値や類似病院の平均値よりは高い水準にある。
- ・外来患者1人1日当たり収益
診療単価の高い外来化学療法患者の増により増加した。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率
30年度においては、28年度に整備した先端医療機に係る建物・機械類の減価償却が始まったことから、29年度以降増加傾向にある。

全体総括

経営の状況はおおむね良好である。病院施設・設備の整備に伴う減価償却費や、高額薬品・材料の使用による材料費等、費用の負担が今後も続くことから、先端医療棟をはじめとする施設を有効活用し、高度・専門的な医療を推進していくとともに、さらなる経営の健全化に努めていく必要がある。

引き続き、H28年度に策定した新公立病院改革プラン（第4次中期経営計画）に基づき、経営基盤強化と財務マネジメントの向上を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。